（二十一日夕刊）

磐城新聞

休刊 大祭日 第一 第三日曜

定價 一部二錢 一ケ月六十錢 郵税十五錢

廣告料 壹行六十錢 指定廿錢増

發行兼編輯印刷人 遠沼龍輔

福島縣平町田町十六番地
發行所 磐城新聞社 電話五六四番

思ひ出草（24）

哲村

古いスクラップブックから

幼な馴染

○

假令たまには引つ掻き合ひをした仲でも子供時代の友達に逢ふ事は故郷で逢ふてさへ懐かしいものを、右を見ても左を見ても知らぬ他國人の寄り集りである樺太の天地で而も二人とも病中豊原の病院に落ち合つた事は何となく偶然の事では無い様にも思はれて、二人は奇蹟の様な逢ふ瀬を喜びお互ひ病勢の減退するに隨ひ行つたり來たりしては幼い折の事など懐ひ浮べ少年の様な眼を輝やかして盡きざる追憶談の數々に耽るのであつた

——何の氣で彼んな事をしたものだか

『間屋の山へ鍋を持つて行つて南瓜を煮て食へたつけねえ』

恁麼罪もない事をして興がつて居た當時を懐しんだりした。そしてその時の仲間は茂ちやんと自分の外を務中土匪の爲に胸を射拔かれて死んでしまつた進平君が居つた事なども話し合つた

兩人の病院生活は二十日程續いた、退院の前日茂ちやんは細君と自分と一番面到を見て呉れたKと云ふ快活な看護婦さんと一つに記念の寫眞を撮つて別れたのであつた

其の後茂ちやんと自分とは白戸飛行大會の折飛行場で慌だしく會つた位で相會ふ機會は無かつた

○

榮濱からの歸りに一寸落合へ寄り道した自分は折良くも道で茂ちやんに會つた

『此間宅の奴が赤ん坊を生んでねえ』

茂ちやんは之れを前おきとしてそれが男の双た子で何れも丈夫、母乳は二人に與へても尚は餘る位で名前もこんな具合につけたなどと語つた

自分は幼な馴染の友達のために

『ほう、それは大傑作だつたねえ』

と簡單な祝辭を述べて置いて、今年の春瀕死のからだを豊原病院の一室に横たへ容態が一時は却々險惡に思はれた茂ちやんが一度に二人の父親となつたと云ふ事が如何にも不思議の様に思はれてならなかつた

そして斯る如き場合に如何なる標準によつて長次を定むるかに就て茂ちやんが語る後から生れたのが先に受胎されたのであるから長男だ。と云ふ説明に對して色々眞面目に考へて見た。獨立呼吸說、發聲說、一部露出說—自分は曾て讀んだ民法の講義で人間が權利の主体として即ち法律上の人格を認むる始期に就てそんな區々な學說のあつた事などを思ひ浮べて双生兒の場合は、この觀念からゆくと何れにしても先に生れたのを長男とせねばならぬなどと思つたりした

正午近い頃事務所を出て驛に一度來た事のあるルイ十四世紀式とかコッテージ風とかの妙な建築の甲倶樂部へ茂ちやんから案内された序に自分は一寸走つて良く知つてゐる茂ちやんの社宅を訪ね細君に抱いて來て貰つて玄關で生後三十四日目の赤ちやんの一人を——一人は良く眠入つて居るから——見せて貰つて歸つた

甲倶樂部で洋食の數々を御馳走になつた上汽車でその日の夕方十七日振りの豊原へ歸つた。十七日振りで見る豊原の夜景は流石は澗內や東海岸よりは明るい。

など思つた

（大正九年の秋頃稿）

——（今月今日）——

△孔子生る（紀元前五五一年魯襄公二一年）△竹田出雲様歿す、天才近松巣林子以後の淨瑠璃文學の大家で有名な假名手本忠臣藏は彼と並木千柳の合作である（寶暦六）△ナイチンゲール女戰場に向ふこの日三十四人の婦人を率ゐクリミヤ戰場に向ふ（紀元一、八五四）△慶長天皇御在位宣布（大正一五）△位階級及國葬令發布（同）

講談 赤穗安兵衛

東京 桃川燕二演
村田月光畫

（八〇）

安兵衛は二日二晩も飲み續けにしてゐて、夫れで眠い顔もせず格別醉つたとも見えない……『是々不忠者』……『え〻先生、何うかまあ其の不忠者だけは御勘辨に預かり度う存じます長助長助とお呼び下さる樣に』……『長助も申した併し主人の娘が身に掛る災難を見ながら、それを餘處にして己れの安泰を計る、それが不忠でなくて何であらう、以來長助を改めて不忠助と名を改めろ、拙者が名付親になつてくれる』……『冗談仰つしやつては困ります、何うかマア彼の時の事は水に流して御勘辨下さるやうに』……『拙者は勘辨しても不忠者の看板は外れぬぞ、ダガそれ程云ふなら今日のところ名付親だけは控ねて遣はそう、サア酌をいたせ』——『へエッお酌ならば主人の酒で、手前の頬が痛む譯でありませんから、いくらでも致します』——『愈々出でて愈々不忠者だ、ダガ不忠とは云ふまい、其處でなあ長助一寸聽くが、拙者が當家へ參つた節店先にて應對した番頭あれは何と云ふ奴であるかな』……『ヤッ、愈々來たぞ』……『ナニ、何か參つたか』……『へエ、此方のことで』——『其の應對をした奴の名を申せ』……『へエへエ其の何で、其の番頭につきまして』……『イヤ番頭に付かんでもよい、名を聽くのだ名を申せ』……『へエ〜名は松藏と申します』……『然うか松藏かよし〜夫れから帳場格子の中で頭のカン〜光つた餘程の年と見ゆる大眼鏡を掛けた奴が居たが、彼れは何んだ』……『ソーラ愈々來たぞ』……『よく愈々來る奴だ、何が來ても宜しい彼の禿藥鑵は何んだ』……『へエ禿藥鑵は番頭の市兵衛でございます』——『大番頭の市兵衛、イヤ然うか其の松藏と市兵衛を一寸之れへ呼べ』——『何うも然うだと思つた、其の松藏市兵衛につきまして』……『何も松藏市兵衛に就かんでもよい、酒の相手が物足りない兩人を呼んでくれ』——『へエ、お腹立は御尤もにございます、誠に無調法を申して相濟みません、是非手前にお詫を申上げてくれと昨日來頼み込まれ、朋輩のよしみ厭とも申兼ね、お詫び仕らうと存じて居りましたので』……『何でもよい兩人を連れて參れ』……『サア、どうも大變だ二人の首が飛ぶかな』……『愚圖〜云はずに、早く連れて來い』……『へエ』

人を見たら泥棒と思ひ、火を見たら火事と思ふのは思慮あるものゝする事だが、松藏と市兵衛は餘り考へ過ぎて困る事が出來た、長逗留の安兵衛を氣に病んで居るところへ長助が飛込んで來た……『サア〜、大事出來椿事持上りだ、市兵衛さんと松藏どんはお浪人樣のお召だ』……『わッ、遂う〜あの一件が出て來たのか』……『まあ然うだ』……『ダカラお前に與々執り成し方を頼んで置いたぢやないか』——『夫りやア大番頭さんの頼みだから其の積りで居たが、執り成すにも執りなさないにも、御浪人樣のお怒りが激しいの何のつて市兵衛の白髪首と松藏のふけ首を並べて肴にする尾張屋の仕出しも川長の料理も食ひ飽きた。此上は番頭共をなますにして、わさび醤油でバリ〜嚙むとのお望みだ、わさび醤油の方は臺所へ行つて、お鍋どんに言付けて置いたが當人が出なくちやア納まりが付かない、サア〜揃つて出たり〜』……『長助どん冗談云つては困るぢやないか、此の年仕つてまだわさび醤油で食つたといふ話しを聞いた事がない、おどかしちや不可ない、旦那樣は何とか仰しやつて下さらないのか』……『旦那樣は夕べのお相手疲れで……グッスリ晝寢だよ、サア〜早く出でなさい……』。

拈華微笑

◇差當り干上つては將來に備ふる保險底の騷ぎぢやない

◇女學校を下げられてたせん泣き馬は瘦せる

◇不況測定の尺度法人組織の増減

◇不景氣を呪咀する投書殺到餘り過激なのもあり取捨に苦む

◇錦の老婆殺しも

◇辭退、村への土産話しが外れて陪審員また失望

◇江田は停車場が出來ぬ處に味があるなんて矢張り負け惜みカネ

○……○

映畫欄

假名屋小梅

椿香る伊豆温泉の春はまだ淡く湯治客の影もまれである、とある温泉宿に人目をさけて歡樂の戀に醉ひ狂ふ若い男女…それは假名屋小梅と瀬川銀之助であつた小梅の旦那山村は隅然にも同じ宿に來た、不意の邂逅に狼狽した銀之助は愴惶と引き上げたが、その時彼は戀仲の藝者蝶次から來た手紙を落して小梅に總てを知られてしまつた。銀之助の兼吉は蝶次を銀之助から遠ざけ樣としてゐた。内氣な蝶次は思ひ餘つて芝居茶屋の一間で自殺をし様としたが、濱本に助けられ結局彼が仲へ入つて銀之助、小梅、蝶次の三人は綺麗に別れる事になり、蝶次は小梅とその旦那村山の力で自前となる事が出來た。山村は小梅の近頃の寂れを心配して、藝者を止めろと意見したが、小梅は聞き入れず自棄酒を飲んで居ると兼吉か來て別れた筈の蝶次と銀之助がつい此の先の椿屋で毎日逢つてゐると告げた、醉つた小梅はそれを聞く其のまゝ椿屋へ押掛けて銀之助の部屋へ飛込んだが、そこには銀之助が持役の研究をしてゐるばかりで蝶次は影も見えない、銀之助は小梅を戒めて事の起りは兼吉と、兼吉に暇をやる、止むなく、彼を引取つて家へ歸つた小梅は遂に廢業を決心する。

其の後小梅は山村の勸めで待合醉月を開いたが、不圖馴染んだ濱本と家を飛び出したまゝ歸らなかつた。

然し自分が傍に居ては濱本が世に出られぬ事を悟つた小梅は、山村に濱本の洋服發を出して貰ふ爲め、恥を忍んで醉月へ歸つて見ると、家は兼吉が切廻して居て現在の父でさへ兼吉にわびを入れねば家へ入れぬと云ふのであつた。

其處へ濱本が小梅に逢はせろと暴れて來た小梅はすきを見て濱本の落した刄物を拾つて外へ出た自分が救つた兼吉にわびを入れるとは如何にしても出來ない事だつた。小梅は兼吉を呼び出し、その忘恩を詰つたが兼吉は聞かない許りか濱本を訴へると脅した。

逆上した小梅は遂に入川端で兼吉を刺殺してしもふ丁度その頃醉月では寛大な山村の取計らひで濱本は洋行させて貰ふ事になつた。

漸く我にかへつて家に歸つた小梅は、せめてもの心遣りと久松署へ自首した。

紅燈の巷に生活する一人の女の淋しい姿。平館上映

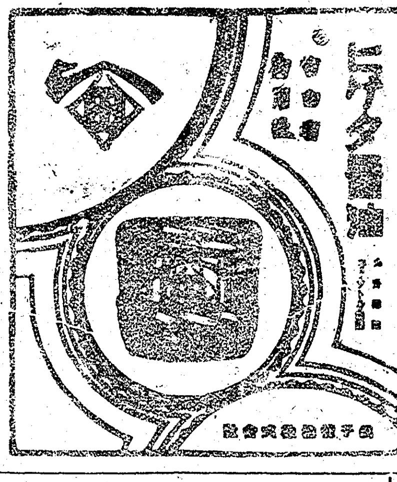
日活と松竹の戰ひ

松竹キネマ蒲田では今後連續映畫の製作はしないと辯明したが、一方日活では『母三人』『ジャンバルジャン』『エロ感時代』『怪盗夜叉王』等の長篇を製作して氣を吐いてゐると云ふ始末で製作方針が違つてゐるが注目される、又松竹では重役會議の結果今後俳優の常設館出演は一時中止することこれまた聲明書を發表してファンに失望を與へた。日活はそんな事には關係なく横濱喜樂座で實演レヴュー『暗闇十四郎』上演する三十一日からは大河内傳次郎伏見直江は淺草富士館に出演じて實演『大岡政談』（魔想篇）をやる事になつてゐる松竹と日活の對峙こそ興味深いものがある

廣告

平町南町
上田醫院
電話一二九番

カキ貝御料理
カキフライ
カキナベ
スカキ
右之通り御案内申上ます。
十月十六日より
御料理仕出し
一の井
電話一六七



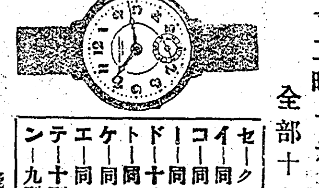
特約店
平町田町
廣瀬支店
電話五四

貸切は
他の追從を許さざる
破格最低料金の
磐城タクシーへ
平驛前
磐城タクシー
電話
四五四番

銘酒
清世界
各炭鑛御用達
小野晋平
電話六番
石城小名濱港
清水屋

秋とサロン
サロンの黑ビール
天高く
氣朗かに
醇味にして
芳醇の
黑ビールを召せ
サロン
電町田三五二番

毎朝八時ヨリ十二時マデ
◎特賣 腕巻時計
全部十ヶ年保險付



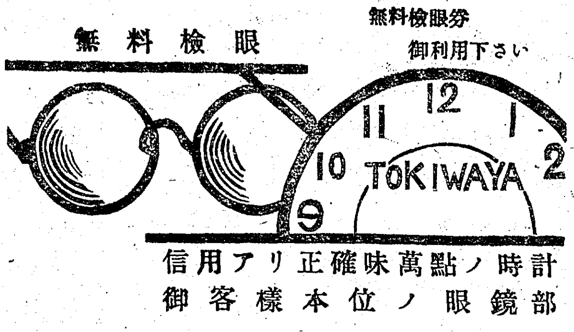
セー	クローム側	十型三圓八〇
イー	同アンクル	八型七圓
コー	同十五石	十型十圓半
ー	同	八型十一圓
ドー	十八金側	十型十三圓半
トー	同	九型廿一圓
ケー	同十五石	十型十七圓
エー	同	八型十九圓六〇
テー	十型（四角腕革付）	四圓七〇
ンー	九型（長角腕革付）	六圓半

上等目覺時計 1,60錢
一週間巻掛時計 4,30錢

精幸堂

專門 内科一般
内科ハ何デモ診療致シマス
呼吸器病バカリデハアリマセン
平町南町六五
川井内科診療所
電話一八二番
醫學士 川井重之
女醫 川井安子

專門眼科醫師擔任



信用アリ正確味萬點ノ時計
御客樣本位ノ眼鏡部
平 壹　常盤屋時計店　電三三九

耳鼻咽喉科專門
日本醫大院長醫學士 鈴木正男
齒科口腔外科
日本齒科科長醫學士 鈴木喜政
◎晝夜診療（日曜祭日午後休診）
下谷區入谷町二九一
入谷改正通り東交番前
鈴木醫院

外交員募集
○電氣、機具の販賣員 貳名
○固定給、歩合及奬勵金支給す
○經驗の有無を問はず志望者は履歷書御送附ありたし（保證人を要す）
（姓名在社）

掛け金が續かず
簡易保險の解約增加
既往四ヶ月の取扱百六十口 平局でも夫々善後策に腐心

平町をはじめ平窪、好間、飯野、神谷、高久、一町五ヶ村を區域とする平郵便局管下の簡易保險加入者は去月末の現在で一萬六千八百五十三口に上り局長以下各係員の平常に於ける努力の反映としてその成績見るべきものあるも最近の不景氣に祟られ比較的少額の金作ら掛け金の不可能に陷るゝの續出し之れを最近の統計に徵するに

六月二十八口、七月五十一口、八月三十三口、九月四十八口

と云ふ具合で近々四ヶ月間に於て百六十口即ち一ヶ月平均四十口の解約者を出しつゝあるに加へ昨今の情勢から推して今後の解約者は一層高率を示すではないかと觀察さるゝ節あり之れが善後策に就ては當局に於ても相當頭痛に病んでゐるもの如くである、元來簡易保險の解約を申込んで來た場合は地方遞信局より本省の申請により本省より直接書面を以て被保險者に對し解約の不利なることを告げ、復活を勸誘して來たものであつたが、切ばつまつた當今の世相は之の種のなまぬるい形式によつて解約希望者の意を飜しむべく餘りに悠長なものでなくなつてゐるので今後は從來の如く本省より直接被保險者に書留を差出すことを中止して、その代り解約申込のあつた場合は郵便局より直ちに局員を派し本人と篤と懇談し種々その理由やら今後の掛金などについて打合せをなす一方復活の途があればそれを勸誘するといふ風に愈々大衆的な事業を開始することになつた模樣である、因に仙臺遞信局管內東北七縣下に於けるこの解約申込みは、本年四月以來の統計を見ると每月平均二千件に上り然も全加入者の一割を示してゐると云ふが平局關係の分は未だそれ程深刻でなく前記の統計によるも一日一件三分强の解約に過ぎぬ事になつてゐる

之も同樣の理由で 娘を退學させる
磐城高女に現れた 開校以來の傷ましい傾向

磐城女學校の四月以降の退學者は非常に多く目下全學級を通じての欠員は二十餘名で最も多いのは二學年級で九名を數へてゐる、このやうな欠員を見たことは開校以來のことで退學者の理由は大半が不景氣のためである。二學年級の多い原因は入學はさしたものゝまだ前途三ケ年ありこの不況では父兄が繼續就學させる餘裕がなく三年四年組の少いのは就學期間が短いのでもう一息で卒業といふので一學年はドン詰りに陷つてゐる本年入學させた家庭であるため最も少ない

自動車調節に 當局の斡旋
事故漸次減少せん

湯本、上遠野間自動車營業者は今廿一日午後一時から平署會議室で會合を遂げ荒井署長立合の下に料金の一定競爭に依る事故防止、運轉回數發着地點其他數項に關して調停の上決する處あつた、當業者の調査に平、湯本間の調定を手始めに四倉、平間、平、小名濱間ぎ逐次調停を見たが平、小川間の營業者芹澤、松崎自動車の分は未決定であるがそれも近く決定を見る筈であるから縣下随一の事故發生地と云はれた本郡下にも保來事故の發生は漸次減少するだらうと見られてゐる

平の自動車 料金改正實行
發着時間一定

平町尼子、白土、松崎、草野、田村屋、早川の六自動車業合同組合では一般の便利を計るため、發車時間を定め十五分毎に發車し出發地點は平町三丁目郵便局前から四倉町海氣館前間終點は平町二丁目伊勢與服店前とし賃金は大人四區廿五錢往復四十錢(小人半額)二區十五錢往復二十五錢と改め二十日から聯合して實施した

合計二百を突破する 石城郡の諸會社
指導役の平稅務署 來月五日研究會を開く

石城郡地方では近時社會の進運に伴れ一般商取引其の他各種用務の決裁漸く複雜となり爲めに從來の樣な放慢な營業經營では到底收支が相償はないので事業の基礎を確固にし且つ收支を明瞭にして營業のよりよき發展向上を期する爲或は負債整理の關係上個人經營から法人組織に變更するもの漸次多きを加へその筋最近の調査によれば石城郡內に於ける會社は

株式會社七十三、合名會社十八、合資會社百十六

合計二百七

を算するが之等會社の內容を見るに收支計算正當ならざるもの、收支計算をなさざるもの、其筋に於て算書を提出せざるもの等ありその改善を要すべき點が少なくないので所轄平稅務署では前記の弊を除去し會社永遠の存續に資する一端として貸借對照表損益計算書の作成方法の說明乃至決算報告書申告上の注意並會社相互の意思疎通を圖るため來月五日午前九時から平稅務署樓上に於て石城法人稅務研究會を開催し石川署長、阿部直稅課長等から詳細說明ある筈であると

自動車体檢査

平署では明廿二日から管內自動車の車体檢査を夫々所在場所で執行する由

修養座談會 廿六日赤井嶽で

郡教育部第三方部赤井村外五ケ村青年修養談話會は二十六日赤井嶽常福寺に於て開催するが講師は小柳知事並に眞義眞言宗智山派管長旭大僧正の兩氏である

投稿 (投稿歡迎)

斷末魔の悲鳴

無茶な金解禁、低腦な緊縮政策の犧牲として、偶然財界は恐慌狀態に入り、入閣は失業者洪水と云ふ前代未聞の恐怖時代を現出した羊頭を揭げて狗肉を賣つた無恥な現政府と雖も、こゝに及んで己れの政策の破綻を認識して、八億の資本で半官半民の電話會社設立とかで局面糊塗のカラクリを企圖し以つて國內に捲き起る怨嗟の聲を緩和せんとして居るが國民は果して彼等が考ふる如く左樣にた人好しでもあらうか。

半官の株式とは何事か、即ち假面をかゝる公債の發行で實質的非募債主義の拋棄による政府の轉換である此の見え透いたカラクリこそは僅かに形骸を殘し喘ぎ喘いで將に野垂死せんとする民政黨政府斷末魔の血迷ひ言に非ずと誰が云ひ得るか。

國民の聲を聽け (平町Y生投)

稼がうにも仕事がない、一體此の先國民生活はどうなるか、此の不景氣內閣を葬らずんば蒼生を奈何せんやだ、山川草木にも生氣なし、濱口首相も賢らか入間性あり井上大藏も大抵にしては如何。

濱口首相も少しは考へて貰ひたい、政治の善惡は、直ちに國民生活に影響して各人の臺所には米もなければ、味噌もなければ醬油もなくなる、無理な生活をする樣になるから小作爭議も起きれば思想も惡化する、故に廟堂に立つ人はよく此の邊の事情を考へなければならぬ。

現內閣の政策では到底駄目だ、國民は宣傳に一時共鳴もしたらうが、もう駄目だ、現內閣に、金解禁なぞと云ふ實進は解決する丈の能力はなかつたのだ、政權を握る丈の能力もない、吾に間違つたのだ、吾人政友の同志等に敢然起つて打開策を講じようではないか、吁、山川草木も生色を失ふ此の國民の聲を聽け。(小名濱痛憤居士)

農村さぼろ

◇農村とぼろは、餘程關係が深い。「ぼろを送る」の平町プロインテク君には感謝する、矢張君の云ふ通り町住ひで不用でも農村では必要な場合が多い。

◇ぼろの用途は隨分有るワラ細工にはぼろを使用せぬ物は無い位に使はれて居る。兼けれは間に合せるやうなものゝ有るに增した事はない。

◇以前僕の家にも、平町に親類があつた、矢張りプロイン君のやうに每年ぼろや古雜誌を送つて呉れた。當時それらの中に、全く廢物の無いのには驚いたものだ。

◇どうせゴミ箱に棄てたり、二足三文に賣拂ふ物なら、プロイン君のやうに農村に送ることを、平在住者にすゝめます。(高久篤農青年)

平署管內消防檢閱
今秋は休止乎

平署では十月上旬から管內各町村消防組の秋季不時非常召集を執行して居るが今廿一日まで施行した町村は三坂村、湯本町、鹿島村、玉川村、平窪村、飯野村、高久村、磐崎村、赤井村、江名町で參事檢閱濟み一と安心の態であるが永戸村、澤渡村、箕輪村、小名濱町、好間村、下上小川村、豊間村、平町の八ケ町村はその旨各組員に通達し機械器具の手入、試運轉、服裝其他に付いて臨時召集をなし何日施行されるか解らぬ非常召集檢閱の下準備をなして居るが例年施行されて來た聯合秋季檢閱は今年度は無いと云ふ事である

馬代で飲む
横領二人男 平署へ訴へらる

平窪村上平窪馬喰鈴木幸次郎(三三)飯野村上荒川坂本文衛(三九)の兩名は去る八月十二日同郡大野村草野祈之助所有の牝馬を八十圓で賣却するからと稱して連れ出しこれを大野村坂本某に三十六圓で賣却代金を遊興費に費消したため二十日平署へ訴へられた

雅客の便を圖って 江田に臨時停車場
(來月早々實施乎)

天下の絕勝である川前溪谷の紅葉案內に關し福島、水戶兩運輸事務所當局では豫て協議中の所川前地內江田信號所に列車の臨時停車(一日二回)位をなすことになり本月始めから實施するとゝ廿日大体決定を見た模樣である右につき飯植平驛長は語る

川前溪谷の紅葉も年々有名となつて來たが何しろ不便の箇所で風流人の多くは交通の關係から川前附近の紅葉を探勝した丈げで日歸りする向きが多いが、最も紅葉を呈するのは江田信號所附近であるから今年は是非日曜日だけでも一列車位同信號所に停車させて風流人の便宜を圖りたいと考へ目下上司に向つて諒解を求めてゐる、何しろ小川郷までは東京鐵道局管內であるが、江田信號所からは仙鐵管內となつてゐるから兩局が協議の上にあらざれば容易に決定を見ないわけだが、而し幸ひ東京鐵道局では諒解してくれたから仙臺鐵道局の出樣如何で今明日中に大体決定を見るだろうと思ふ云々

臨時停車場 不可と決定
一般殘念がる

江田信號所附近へ臨時停車場を設け風流人の便宜を圖るべく平、水戶驛長はそれぐ〜奔走中の旨別項の通りであるが從來地方には平町に於て開かれた縣下体育大會或は赤井嶽藥師祭典其他大小の臨時列車を發した事ある關係から更に臨時停車を斷行し難き事情あり一先つ沙汰やみの餘儀なきに決定したと一般の殘念がる事夥しい

錦村の老母殺し事件
陪審裁判を辭退
愈々來廿四日平支部で 準備公判開廷に決す

石城郡錦村に於て曾祖母を慘殺した助川秋雄(一七)假名に係る殺人事件は過般平支部に於て豫審終結し福島地方裁判所の陪審裁判に附される旨既報の如くであるが今日まで平支部關係の陪審判事件は全部被告側から辭退したのであつたが今回の被告助川は辭退せぬので去る十三日一件書類全部を福島地方裁判所へ送附し愈々陪審裁判に附される事になつたが其後被告者助川が辭退を申し出たので愈々來廿四日平支部で準備公判を行なはれる事となつた

意外の人口減少は 調査疎漏が原因
正確なる平町の現勢は 今回調査の二萬四千人

平町十月一日現在に於ける國勢調査の概數は世帶數四千八百餘人口は二萬四千八百七十名內男一萬三千八百名女一萬一千七百名である去る大正九年の第一回國勢調査では人口二萬三千七名男一萬二百卅九名女九千七百九十八名で更に十四年の調査では人口二萬二千四百二十九名男一萬一千三百一名女一萬一千百廿八名で昨年の町役場帳簿面では二萬七千百九十三名であつたのにそれと比較すると二千三百餘の減少に係官も驚かされてゐるがこれは國勢調査が詳細に行はれ從來の調査は其間多少疎漏の點があつたのに起因するものである

草野校運動會

草野村小學校では廿二日午前九時から校庭で秋季運動會を開催する筈であるが雨天なれば順延する由

三大炭礦聯合 陸上競技大會
來月三日平町で

磐城、入山、古河三大炭礦聯合第三回陸上競技大會は本社後援の下に來月三日午前八時から平町磐中グラウンドにたいて催される

かみくづ

◇どうだい、親孝行展覽會の向ふを張つて、一つ親不孝展覽會を始めては、そして前途盛者を出品するサ皆んな資格はありそうだね「アラ親不孝なら貴君方客さんの方の側よ、お父さんの貯めたお金をチョロかして遊ぶんでショ。あたいたちは川柳の、孝行に習られ不孝に諸出されの方よ!」た客はべシャンコにされて眼をパチクリ◇「ハアーャレ今年しや豊年穂に穂が咲いて、藝者の腹にも子が稔つた」そんな盆唄があるのかへ、ダッテほんとに作が好いのよ〇〇が腹を撫でてる、ハテナなんのマジナイだらう。

潮の吉凶

舊九月一日 新十月二十二日

▲一白の人 內には穩なれども外には不信を招き易き日▲二黑の人 平凡の如くみゆれども根氣次第利得ある日▲三碧の人 先を見込での賣買には失敗に陷入易き日▲四綠の人 初めは運氣弱けれども次第に吉と成るべし▲五黃の人 內輪採めさへなければ自ら發展し行べき日▲六白の人 自重して進めば大吉なり婚約企業皆成べし▲七赤の人 引立てに逢ふて昇遂すべき日名弘入學皆吉▲八白の人 職業撰擇に苦しむ日急ぐ時は不覺を採べし▲九紫の人 目上の差圖を受けて働けば大吉日と成べし

平町人事

△出生 平町紺屋町三茨城縣多賀郡松原町高萩煉瓦職山崎五郎二女かつ子 平町紺屋町四三內鄉村小島彖町二藤信重長女良子 ▷婚姻 平町紺屋町八山部光子(三三)埼玉縣北埼玉城河原大塚七一九官史細井喜久(三七) ▲死亡 平町四丁目三八內鄉村白水川平七六白土清太郎(五七)

夜間診療
胃腸 皮膚
十二指腸虫病 內科 專門 內科部
淋病 婦人病 皮膚病 專門 外科部
松村胃腸病科醫院 (平南町電話一〇七番)

皆様の 昭和タクシーは 此際 御得意樣本位に
貸切の料金 値下斷行
何卒御用命を
平驛前 電三四三(サシミ) 澤正路

新築落成
耳鼻咽喉科 氣管食道科 (專門)
平町南町(舊診療所向)電一七〇番
大和田醫院 大和田郡司
自炊の便あり

吉田眼科醫院

革新大歌舞伎來演
中村芝樂 中村小芝 中村芝好 三人兄弟大一座
出演太夫 和平 鶴雲 東光 太夫竹本浪太夫 外數名出演
當ル十月二十二日午後五時花火合圖開場
御當地初御目見得ニ付 時節柄大勉强 入場料 大人二十錢 小人十錢
聚樂館

父常松儀豫て病氣の處藥石効無く十九日午後十時死去致し候間御通知に代へ此段謹告仕候
追而葬儀は二十二日午後二時自宅出棺神式に依り天理教墓地に於て執行仕り候
昭和五年十月二十日
嗣子 三井文吉
親戚一同